

Google Classroomの使い方

経営学部 山口 直木

1

Google Classroomとは

• クラスを管理するアプリ

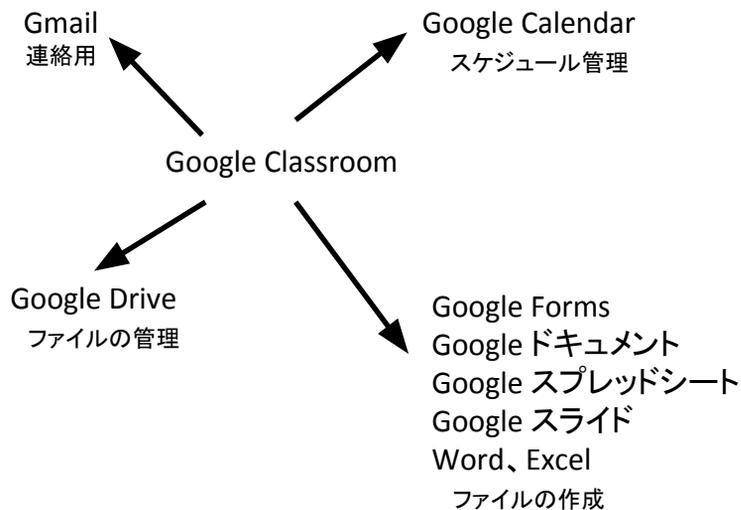
- Google for Educationのアプリとして公開
- ‘Google Classroom は、クラスの管制センター。クラスの作成、課題の配布、フィードバックの提供、クラスのあらゆることの管理、これらすべてを1か所で行えます。ペーパーレス化を実現しながら、必要なことをその場でできる、使いやすいツールです。’

(<https://edu.google.com/intl/ja/products/productivity-tools/classroom/>)

• 他のアプリとのコラボレーションにより各機能を実現

- 生徒への連絡→Gmail
- ファイルの管理→Googleドライブ内の**クラスフォルダ**を利用
- スケジュールの管理→Googleカレンダー
- 課題の作成→Google Forms、Microsoft Office等

2



3

用語の説明

- 教師: 担任
 - クラスを作成し、他の教師、生徒を招待することができる
 - クラス内で投稿の作成等を行うことができる
 - クラスの削除は、アーカイブ化を行った後に削除
- 教師: 副担任
 - 招待されたクラス内で投稿を作成することができる
- 生徒
 - クラスに参加することができる

4

用語の説明

- クラスのドライブフォルダ
 - クラスを作成すると、教師と生徒の両方に作成される
 - Googleドライブ内の[classroom]→[クラス名]のフォルダ
 - 教師と生徒のドライブフォルダは共有される
- 共有
 - 1つのファイルをアクセスを許可されたユーザで閲覧、編集等を行う
 - アクセス権はさまざま設定が可能である

Classroomへのログイン クラスの作成とクラスの画面

google classroomへのログイン

パソコン

Googleへアクセス、
ログイン画面に遷移

Gmail 画像 

メ

メールアドレス:

(~@stg.takamatsu-u.ac.jp)

パスワードを入力

<https://classroom.google.com/>

へアクセス

スマートフォン

google classroomのアプリを
インストール

アプリを起動後、

メールアドレス、パスワードを入力

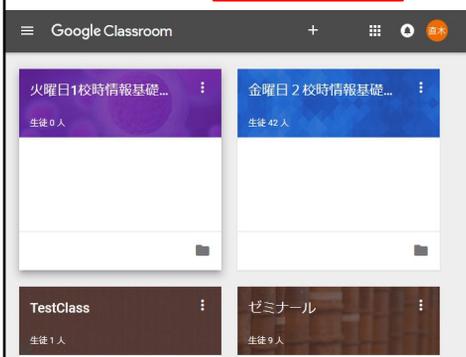
注)iPhoneの場合は、

- Gmail
- Google Chrome

も同様にインストールをする

7

クラスの作成



アプリ



投稿の作成

クラスの概要:教師

TestClass

クラスのドライブフォルダ

Classroom のカレンダー

Google カレンダー

教師

山口直木

教師の招待

+ クラスの資料を追加

- クラスの資料を追加
 - ドライブフォルダ内にファイルを作成
 - 生徒の概要画面にファイル名を表示

- 副担任を招待する

9

クラスの概要:生徒

TestClass

あなたの課題

クラスのドライブフォルダ

Classroom のカレンダー

Google カレンダー

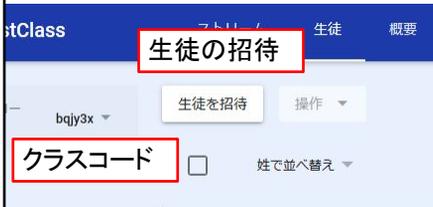
教師

山口直木

生徒の招待

10

教師の画面



- クラスコードを生徒に周知する

生徒の画面 classroom



投稿の作成



「投稿」の種類

- お知らせ
生徒へのお知らせ
- 課題
生徒へ課題を出す
レポート等の提出も管理可能
- 問題
問題を作成し、生徒の回答を
リアルタイムに集計可能
- 投稿を再利用
以前の投稿を利用して、新たな投稿を作成

「投稿」には、ファイル等を添付することも可能

13

課題にファイルを添付する場合



パソコンからファイルを
アップロードして添付



ドライブからファイルを添付



YouTubeの検索キーワード、
URLを添付



ドライブの共有機能を使って
ファイルを共有

14

生徒へのファイルの添付方法

- 生徒はファイルを開覧可能
教師と生徒がファイルを共有し、閲覧可能
- 生徒はファイルを編集可能(課題のみ)
教師と生徒がファイルを共有し、編集可能
- 各生徒にコピーを作成(課題のみ)
教師
課題名のフォルダを作成
そのフォルダに各生徒に[生徒氏名+ファイル名]の
ファイルを作成し、各生徒とファイルを共有
生徒
[生徒氏名+ファイル名]のファイルが作成され、
教師と共有

作成された課題

添付ファイルの注意点

- 「お知らせを作成」「問題を作成」
 - 閲覧のみ可能
- 「課題を作成」
 - 閲覧、編集、コピー配布が選択可能
- 「各生徒にコピーを作成」
 - Google製以外のファイルにしか適用ができない

課題の提出方法

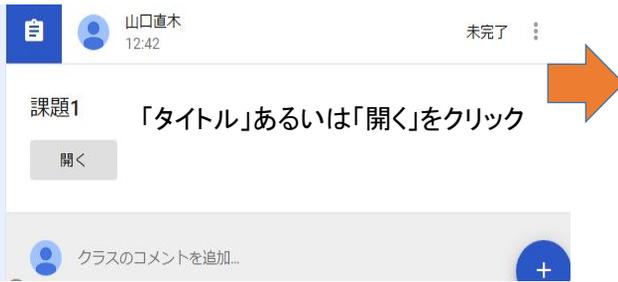
17

添付ファイルの確認と提出方法：生徒

1. 「概要」をクリック
2. 「クラスのドライブフォルダ」をクリック
3. ドライブフォルダから、ファイルをダウンロード
4. ファイルを編集後、保存
5. 課題のタイトルをクリック
6. 「追加」より添付するファイルを追加
7. 「提出」をクリック
8. **unnecessary files are present, delete and submit**
9. 完了マークが付き、提出完了

18

生徒の画面:課題作成後



- 追加
添付ファイルを追加
- 作成
新しいファイルを作成
(Googleドキュメント等)

課題の概要



19

生徒の画面:添付ファイルを追加



課題の提出



再提出をする場合

20

教師の画面: 提出された課題の確認



- ストリーム画面で課題のタイトルをクリック
- 「完了」した生徒の名前をクリックすると、その生徒の添付ファイルが表示
- コメント、評価等を入力後、「返却」をクリックすると、生徒にファイルが返却される

21

添付ファイルの注意点

22

ドライブフォルダの挙動(コピー配布)

	教師	生徒
課題の作成	課題のタイトル名のフォルダを作成 そのフォルダに <ul style="list-style-type: none">・ オリジナルのファイル・ [氏名-ファイル名]のファイル が作成	ドライブフォルダに [氏名-ファイル名]のファイルが作成
課題の提出	課題のフォルダに生徒から添付された ファイルが作成	パソコンにダウンロードし、編集したファイル を追加すると、ドライブフォルダにそのファイル が作成

23

Googleドライブの特性

- 更新日時(ドライブに作成された時間)によるファイルの区別が可能
 - ・ 同一のフォルダ内に同じ名前のファイルが複数存在する
- 課題に添付されたファイルをダウンロードし、そのファイルを課題の提出時に添付した場合、2つは別々のファイルとして判断される
- この現象は、「各生徒にコピーを作成」を使用した場合に発生

24

問題の回避方法

- 提出時に、配布したファイルを削除する
 - ファイルを追加する前に、添付されているファイルを削除する
- コピー配布を行わない
 - 課題のタイトルのみで課題を作成
 - メールの特付ファイルでファイルの作成手順等を記述
- Google Formsを利用する
 - アンケートの作成、回収、分析を行うサービス
 - スマートフォンを利用する場合には、Google chrome画必要となる

25

Google Formsの紹介

26

Google Forms

無題のフォーム **タイトル**

フォームの説明

無題の質問 **質問事項** **回答方法** ラジオボタン

○ オプション1

○ 選択肢を追加 または 「その他」を追加

質問の追加

セクションの追加

注) スマートフォンの場合には、Google Chromeを

27

回答方法

- 記述式
 - 1行の文章 例) 学籍番号、氏名等
- 段落
 - 複数行に渡る文章
- ラジオボタン
 - 複数選択不可の択一
- チェックボックス
 - 複数選択可能な選択

28

選択式(グリッド)

無題の質問

...

選択式(グリッド)

無題の質問

...

行	列	1校時	2校時	3校時	4校時
1. 月曜日	× ○ 1校時	○	○	○	○
2. 火曜日	× ○ 2校時	○	○	○	○
3. 水曜日	× ○ 3校時	○	○	○	○
4. 木曜日	× ○ 4校時	○	○	○	○
5. 金曜日	× ○ 列を追加	○	○	○	○
6. 行を追加					



29

回答に応じて質問を表示

質問

ラジオボタン

セクション2 × セクション2 (セクション2) に移動

セクション3 × セクション3 (セクション3) に移動

選択肢を追加 または 「その他」 を追加

ここをクリック

表示

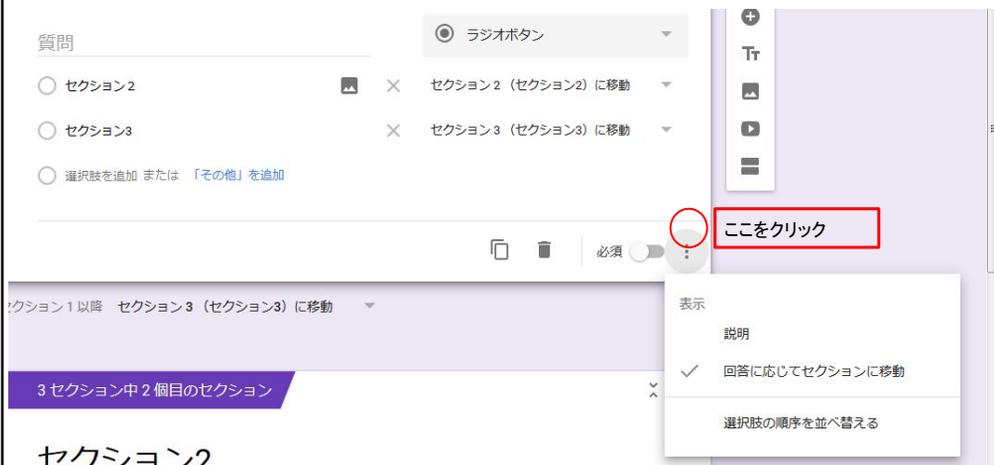
説明

✓ 回答に応じてセクションに移動

選択肢の順序を並べ替える

3 セクション中 2 個目のセクション

セクション2



30

まとめ

google classroomの良い点

- レポートの管理が簡単
 - 提出者、未提出者の情報を一括で管理可能
 - 生徒側も未提出のレポートを把握できる
 - 未提出のレポートのタイトルがわかる
- レポートのフィードバックが簡単
 - コメントを簡単に作成することができ、返却もクリック1回で可能

Google classroomの問題点

- 生徒の登録
 - 教師からの自動登録ができないため、生徒のアクションが必要になる
- ドライブフォルダへの理解
 - ファイルの挙動が通常と異なる
 - 使いながら、覚えていく必要がある
- classroomだけでは、利用できない
 - 生徒への連絡→Gmail スケジュール管理→google calendar等、使い方を覚えるべきアプリ、サービスが多い

33

今後の目標

- GASを利用したサービスを作成
 - GAS (Google Apps Scripting)を用いて、より使いやすいサービスの開発
- GAS
 - googleのサービスを利用して新たなサービスを開発するための、スクリプト言語であり、Javascriptを基本とした文法に、各種サービスへアクセスするためのAPIを提供している

34